

令和9年度

学校案内

SCHOOL GUIDE 2027

 学校法人三重高等学校 **三重中学校・高等学校 六年制**

MIE JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

🔍 三重中学校



学術とスポーツの 真剣味の殿堂たれ

一人ひとりが 社会貢献できる人材として 活躍する為に

学術の場では、学術の研鑽を図り、スポーツの場では、健康の増強・心技を練成する。実行すべき大綱として次の四大綱を定め、この建学の精神を教育の基盤とする。

一、ルールを守る 二、ベストを尽くす 三、チームワークをつくる 四、相手に敬意を持つ

私立学校は「建学の精神」の理念のもとに教育することが根幹であり、人間性を重視しつつ、個性的な教育にあたることを誇りとしています。建学の精神「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」は、熱意をもって学び続けること、心身を鍛えるとともに夢と向上心を持って物事に挑戦することを強調しています。



新入試対応の 授業構成

ICT活用教育プログラム、
外部検定対策講座、
入試準備対応カリキュラム



真剣味

校訓：真剣味
真剣味とは、[知・体・徳]のバランスのとれた人間形成を目指すことを意味しています。

真（真実・真理）⇒知育（学力）
剣（剣道・剣術）⇒体育（体力・スポーツ）
味（人間味）⇒徳育（人間力）

徹底した 基礎学力の指導

学習習慣の習得、
スモールステップ指導、
放課後補習



個性を活かす 進路指導

個人面談、進路面談、
大学オープンキャンパス参加、
模試指導

幅広い取組みに 触れる機会

外部連携特別授業、
授業内体験講座、芸術鑑賞会、
キャリア教育

家庭との 緊密な連携

ホームページ、クラス通信、
校報「万華鏡」、
カウンセリング、公開授業、
学年懇談会



成長すること

三重中学校長 野田 佳均

青春前期を生きる皆さんにとって学ぶべきこと・吸収すべきことは山のようにあります。これからの6年間、寸暇を惜しんで勉学に励んでほしいと思います。

昔、勉強する理由は何かと問う私に、恩師が「人はなぜ勉強するのか。それは、昨日わからなかったことが今日はわかる、今日わからなかったことが明日はわかる、これほどの喜びはないから勉強するのだよ」と教えて下さいました。今の私もそう思っています。解けなかった問題が解けるようになったり、読めなかった英文が読めるようになったりするのは確かに痛快だし、知的満足を与えてくれるものです。それが人を成長させます。

成長とは、時間的にも空間的にも思考が広がることを言います。目の前のことにしか関心がないというのは、子供の証拠です。成長していくにつれ、自分の将来像を模索する力が生まれてきます。皆さんの目を世界に向けてくれます。自分の存在を家族の中の一人、クラスの中の一人、学校の中の一人といった狭い範囲から、もっともっと広い世の中に生きる一人の人間として考えることができるようになります。この時代この場所に生まれた偶然を、自分の力で広げていくことができます。

あるいは成長とは、次のような段階を踏むことだとも言われています。

1. 自分が何も知らないことを知らない。
2. 自分が何も知らないことを知っている。
3. 自分が何を知っているかを知っている。
4. 自分が何を知らないかを知っている。

君は今、どの段階にいらっしゃるのでしょうか。少年期から青年期に入る大切な数年を、ひたむきな努力をして生きてほしいと思います。やがて成長した自分を自覚するはずですから。



6年間一貫教育の魅力

中学校・高等学校の学習内容を5年で終えて、残りの1年間を進路準備にじっくりと取り組むことができる柔軟なカリキュラムとなっています。中学校・高等学校の学習内容を重複なく円滑に接続することで、大学への進路準備と、海外留学や研修、大学・企業の体験学習、その幅広い課外活動との両立が可能になっています。

学力の三要素①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に学習に取り組む態度をバランス良く育成することができます。



中1の
三重中学生のある1日

8:25 までに登校

8:25 から朝のSHR

午前中 50分 4限授業

持参のお弁当で昼食

午後 50分 2限授業

補習授業
クラブ活動・特別活動

17:30 完全下校

あの頃の私、今の私

6年A組 小津 茉莉子（松阪市立第二小学校卒業）

私が三重中学校に入学した当初は学校にも慣れていない中、コロナ禍の影響で授業がオンラインで実施されるなど、先行きへの不安の大きいスタートでした。しかし、そんな状況の中でも整った学習環境の下、勉強と部活道の両方に伸び伸びと打ち込むことができました。

私がこの5年間で常に心掛けたのは「文武両道」の精神です。中学1年生からダンス部に所属し、中学では勉強時間も十分に確保しながら趣味の時間も大切に充実した日々を過ごすことができました。高校生になると、練習もより忙しくなり、授業内容も高度になるため、両立に葛藤する時期もありましたが、早朝の教室で勉強できる環境や、いつも快く質問に答えてくれる先生方、時には励まし合い、切磋琢磨できる仲間の支えのおかげで乗り越えることができました。この三重中高での経験を礎に來たる大学受験やこれからの人生に活かしていきたいと思ひます。



中学校 校時

- 学 期：三学期制
- 登 校 / 8:25
- 授業終了 / 15:10
- 下校時刻 / 17:30(夏期)
- 17:00(冬期)

※中3は 週1日7限授業があります。
(授業終了 / 16:10)

先取りのイメージ

学年 教科	中 1		中 2		中 3	高校課程の先取り学習
数 学	中 1 数学	中 2 数学	中 3 数学	数学Ⅰ 数学Ⅱ		
英 語	中 1 英語	中 2 英語	中 3 英語	英語コミュニケーションⅠ		

中学部では、国語・英語・数学の学習に重点を置くことで、継続的な学習習慣と学習意欲を育み、基礎学力の充実を図ります。理科・社会では、外部と連携した特別授業など、興味・関心を引き出す魅力的なプログラムが多数用意されています。また、英語・数学は中学2年生までに中学課程を修了し、高校課程の学習へと進みます。さらに「情報」や「公共」などの教科についても先取り学習が可能です。

特別選抜クラス TOP35

特別選抜クラス「TOP35」では、個々の夢をより高く実現するため、東大・京大・名古屋大などの旧帝大や医歯薬系大学、一人ひとりの個性に応じた国公立・私立大学への進学を目指して、日々の学習に取り組んでいます。6年間をより高度かつ効果的にデザインし、早期に基礎学力を定着させるとともに、思考力を養う多彩なプログラムや行事を展開することで、生徒自身の個性を生かした進路の実現を後押ししています。これらの取り組みは、「より高い意識」「より広い視野」「より深い思考力」の習得を目指し、各分野の専門家との連携のもとで行われており、知識や技術の習得にとどまらず、あらゆる分野のトップリーダーとして社会貢献する姿勢を育てています。また、協調性を育む生活指導の下、豊かな人間性の形成を重視しています。

「TOP35」は、高い志を持って夢を形にし、自らの力で社会に貢献していこうとする人材を育成するクラスです。



短期留学
(オーストラリア姉妹校)



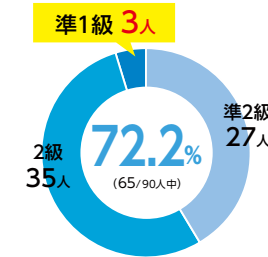
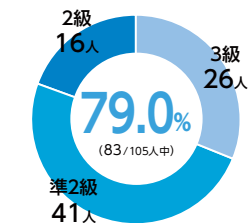
コミュニケーション英語

英語指導実績

本校では、「生徒の学びに限界をつくらない」を合言葉に、学年の枠を超えて意欲ある生徒が自由に学べる環境づくりに取り組んでいます。その一環として「資格取得プロジェクト」を立ち上げ、生徒の学びたいという意欲を積極的に支援しています。iPadを活用した授業では、発音指導に加え、スピーチやプレゼンテーションを通して、自然に英語に親しめるカリキュラムを展開しています。

3年(中3)英検3級以上の取得
(CEFR A1 レベル相当以上)

6年(高3)英検準2級以上の取得
(CEFR A2 レベル相当以上)



オンライン英会話授業

基礎学力の指導

学習習慣

大学研究室

地域との
連携行事

生活習慣

効果的な
カリキュラム

難関国公立へ

校外学習

緊密な連携

宿泊研修

翠巒祭・体育祭

体験授業

思考型科学教育 【外部連携プログラム】

本校では外部連携を活用しての様々な学習プログラムが組まれています。それらの取り組みは本校教員による独自のプログラムで、本校に在籍するからこそ学べるものです。実施されるプログラムは生徒個々の才能を伸ばす取り組みとして高く評価され、大学・企業・地域活動において社会貢献をしています。



夏季合宿植生学習



放射線特別講座



海の学校(松名瀬海岸)

選抜クラス STANDARD

徹底した基礎学力の定着には、研究と経験に裏打ちされた丁寧な学習指導が礎となります。本校では、その確かな土台の上に思考力を養う多彩なプログラムや行事に取り組むことで、生徒一人ひとりの可能性を引き出しています。こうした学びは、互いに学び合う環境の中で培われていきます。その背景には礼節を重んじる日々の生活指導と、生徒、保護者、教員の間に築かれた強い信頼関係があります。これこそが三重中高六年制における教育のスタンダードです。この環境の中で、多くの生徒が国公立大学や難関私立大学など、第一志望への進学を実現し、将来は社会の様々な場面で活躍しています。

キーワードは、「一緒だからできる」。熱い想いと強い連帯感のもと、それぞれの個性を生かし夢を形にする——本校は地域に貢献できる人材を育てる学びの場です。



6年間日々の学習

三重中学校で学ぶことは成長すること



数学

美しい答案は思考の整理から

小学校のときの、見える算数から、見えない数学へ移りゆく中学の時期。数学の世界へのツアーは抽象的な概念を意識することから始まります。「答えを求める」だけでなく、「どのように考えたか」が真理への道程になります。「なぜ、そうなるのか?」という疑問・仮説を大切に、「論理的に考える楽しさ」を得ながら、より美しく素敵な答案を目指します。



社会

ここから世界へつながる

1歩世間に出れば、「社会」が広がっています。意識しなければいつもと変わらない風景ですが、視点が増えると全く違った社会が見えてきます。三重中学校では身近な地域を多様な目線で捉えることで、視点を増やしていきます。具体的には、地元松阪に関する特別授業や社会見学を行う事で培っていきます。モノの見方が変わる体験は、とてもワクワクして楽しいものです。松阪から新たな世界へと繋がっていきます。



英語

柔軟なコミュニケーションを培う

三重中学校では、英語を「学ぶ」だけでなく、「英語で考え、伝える力」を育てることを大切にしています。日々の授業では、正しい文法を学びながら、4技能をバランスよく伸ばし、スピーチやプレゼンテーションなどの実践的な活動も取り入れています。ネイティブ教員による英会話や、オンラインを活用した語学授業など、多様なプログラムを通して、生きた英語に親しみながら学ぶことができます。さらに、オーストラリアの短期交換留学など、実際に異文化に触れる体験を通じて、広い視野と多様な価値観を身につけることを目指します。



理科

あたりまえの疑問から

自然科学は、身の回りの生物や現象に関心・疑問を持つところからがスタートです。初めて気づくこと、改めて知ることの機会を存分に増やしていくことで科学的な素養が育まれます。そして、細部にこだわる意識、正確に表現する姿勢、分析する意欲、考えをまとめる力を身につけ、探究へとつなげていきます。毎週の実験実習、専門家による多くの外部連携授業などを体験することで、生徒の可能性は限りなく広がります。



国語

ことばを使って考える

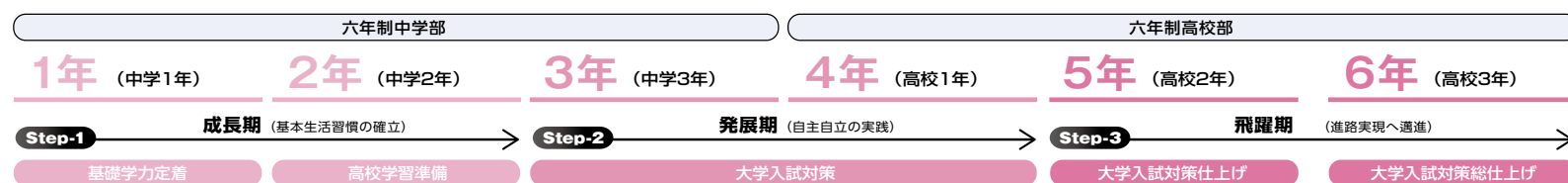
国語の学習を通して二つの宝物を育ててもらいます。一つは確かな学力です。たくさんの言葉に触れて、書き手の思いを読み取る力を高めます。そして、自分の主張を的確に伝えることができる表現力を習得するのです。もう一つは豊かな心です。物語の世界を旅して、感性を豊かにしましょう。皆さんの夢が叶えられるよう、この二つの宝物を磨き上げていきましょう。



情報

教育を受けた者の行動

「情報」の教科では、デジタルトランスフォーメーション（DX）の進展に対応できる基礎的なITスキルを習得します。生徒は、プログラミングやデータ解析、インターネット活用法を学び、情報を効果的に活用する能力を身につけます。また、情報リテラシーを高め、デジタル社会で求められる適切な情報の選別・活用方法を理解します。この教科を通じて、変化の激しい社会に対応できる柔軟な思考力と実践的なスキルを養います。



教育課程	中学教育課程			(中3 7限授業開始)		高校教育課程		
学習指導・支援	授業・定期試験							
	小テスト指導							
	長期休暇特別補習	長期休暇特別補習	高校準備講座	長期休暇補習・放課後補習				
進路指導・ キャリア支援	キャリア学習							
		企業訪問見学	進路研究					
	様々なコンクール応募		大学オープン キャンパス参加					
	探究学習・自由研究発表会(理科/社会/他)			志望校選択(第1段階)	志望校選択(第2段階)	志望校決定		
国際交流・ 国際理解教育	交換留学プログラム(オーストラリア) *2週間のホームステイ *5名前後を選抜して派遣							
体験学習プログラム	スキー練習会	夏季合宿(観察/登山)	研修旅行	校外研修	修学旅行	個々の研修参加		
探究学習プログラム	雅楽体験教室	能楽囃子体験教室	幼稚園保育体験					
数 学	地域探究「まつたん」	海と山の環境学習	エネルギー環境学習	地域イノベーション探究	課題研究	研究論文執筆		
英 語	中学課程		数ⅠA先取り学習	高校課程		大学入試対策		
	中学課程		高校英語先取り学習	高校課程		大学入試対策		
社 会	英検3級～2級取得			英検2級～準1級取得		大学入試対策		
	中学課程		高校「公共」先取り学習	高校課程		大学入試対策		
	地域探究プログラム			高校課程		大学入試対策		
理 科	中学課程		高校「化学」先取り学習	高校課程		大学入試対策		
	理科自由研究発表会①	理科自由研究発表会②	理科自由研究発表会③	大学・企業連携探究活動・講座		大学入試対策		
	探究科学学習 step1 準備篇	step2 実践篇 フィールドワーク	step3 研究篇 意思決定学習					
国 語	中学課程		高校課程		大学入試対策			
	各種作文コンクール応募							
生徒会 クラブ	中学校での活動			三重高校にて全国区へ				
	翠巒祭 スポーツ大会 地域活動イベント運営/地区大会 県・東海・全国大会							
ICT活用教育	iPad 活用 アプリによる双方向学習							
	情報・倫理教育	プログラミング講座	高校「情報」先取り学習	入試 活用				
ボランティア活動	地域活動 松名瀬海岸各種プロジェクト 生徒会運営活動							
防災・安全教育	防災訓練(毎年)							

六年間の探究の旅

		自然科学	社会科学	探究のスキル			
中学部	1年	自然を感じる 「スキー練習会」	地域を知る 「まつたん1」 「まつトーク」	読む力	書く力	マインドセット	ICT力
	2年	自然を学ぶ 「海の学校」 「山の学校」	企業を知る 「まつたん2」 「進路行事」	読解力トレーニング	80文字トレーニング	ENGAGEDプログラム	リテラシー活用力養成
	3年	自然を探究する 「放射線学習」 「エネルギー学習」	地域課題を学ぶ 「研修旅行」				
高等部	4年	●地域課題解決探究「How do you contribute to MATSUSAKA?」				グループ探究	
	5年	●課題探究「How do you contribute to THE WORLD?」				個人探究	
	6年						

「世界への貢献」をテーマに6年間の探究の旅が入学生たちを待っています。

中学部では探究のための素養を身につけます。自然科学分野は自然豊かな地元・三重県と雄大な山岳の研修地・長野県をフィールドに学び、3年間の自由研究を通してテーマ探し・仮説・実験・考察・発表を身につけます。社会科学分野は歴史文化の深い地元松阪を舞台に地域発見・地域探究を行い、図書館を使った調べるコンクールで学びの成果をまとめます。また探究のスキルとして、「読む力」「書く力」「マインドセット」「ICT力」を身につけるプログラムが用意されています。

高等部では探究の実践です。4年生の地域課題探究、5・6年生の課題探究を通して、自分自身が社会とどのように関わり、社会のための一員として貢献していけるかを探究します。学問の見地をしっかりと入れた探究をすることで、自分の生き方を見つめる探究の旅となります。



海の学校



高校探究講座



ポスターセッション



まつトーク

School Life

1～3年 (中学)

- 入学式
- 始業式・対面式
- 遠足(2年生)
- オリエンテーション合宿(1年生)
- 前期生徒会役員任命式



▲地域探究

- 文芸大会
- PTA総会
- 地域探究(1年生)
- 交通安全教室

- 公開授業
- 教育懇談会
- 海の学校
- 第1回英検
- 1学期定期試験

- 保護者懇談会
- 健康教育講座(2年生)
- 中体連地区大会
- オーストラリア短期留学
- オープンスクール



▲保育実習

- 夏期補習講座
- 大学オープンキャンパス参加(3年生)

- 始業式
- 翠巒祭
- 中体連新人戦
- 防災避難訓練
- 実力テスト

- 後期生徒会役員任命式
- 性教育講座(1年生)
- 教育相談会
- 地区駅伝
- 2学期中間試験



▲向野園訪問学習

- 公開授業
- 保護者対象進路ガイダンス(3年生)
- 健康教育講座(3年生)

- 雅楽体験教室(1年生)
- 保護者懇談会
- クリスマスコンサート
- 冬期補習講座
- 2学期期末試験



▲能楽囃子

- 始業式
- スキー練習会(1年生)
- 高校準備講座(3年生)
- 実力テスト
- 第3回英検

- 能楽囃子体験(2年生)
- 交通安全講話
- キャリア校外学習(2年生)
- 理科特別講座(3年生)
- 三重中フェスタ

- 球技大会
- 卒業式
- 高校入学説明会(3年生)
- BTSC(学習合宿)(3年生)
- 次年度前期生徒会選挙



▲卒業式

6年間の充実した日々

紹介した写真は中学の行事が中心です

4～6年 (高校)

- 入学式
- 実力テスト
- 個人面談



▲入学式

- 1学期中間試験
- 修学旅行(5年生)
- 授業参観(公開授業)

- 第2回統一テスト(6年生)
- 進路行事(4,5年生)
- 体育祭

- 保護者懇談会
- 1学期期末試験
- 夏期補習

- 夏期補習
- オープンキャンパス

- 始業式
- 翠巒祭
- 第3回統一テスト(6年生)
- 後期生徒会選挙
- 実力テスト(4,5年生)

- 2学期中間試験
- 校外学習(4年生)
- 保健講座(4年生)

- 人権LHR
- 心の健康講座(5年生)

- 2学期期末試験(4,5年生)
- 学年末試験(6年生)
- 保護者懇談会
- GTEC(5年生)

- 始業式
- 六送会
- 実力テスト(4,5年生)
- 大学入学共通テスト

- 第1回統一テスト(5年生)
- 看護医療系ガイダンス

- 卒業式
- 学年末試験(4,5年生)
- 春のオープンキャンパス
- 三重大学 出前授業(4年生)



オリエンテーション合宿(1年生)



松阪もめん物語



体育祭



和装体験



夏季合宿



中3研修旅行



翠巒祭



芸術鑑賞会



まつトーク



スキー練習会(1年生)



三重中フェスタ



中学部活動

運動部



ダンス部

卓球部

野球部

ソフトテニス部

バスケットボール部

文化部



茶道部

華道部

合唱部

科学技術部

- 文芸部
- 美術部

制服

6年間の学生生活を見据えた中高一貫ならではのスタイルリッシュで凛とした制服です。
スカート、スラックス、ジャケットなどは中高通して着用していただけます。



冬服

夏服

2025年度 表彰一覧 (六年制のみ)

- 第36回三重県南勢地区中学生軟式野球大会 ・野球部 準優勝
- 令和7年度松阪市中学生ソフトテニス選手権大会 (団体の部) ・女子の部 ソフトテニス部 準優勝
- 令和7年度松阪地区中学校卓球大会 ・個人戦 卓球部 優勝
- 令和7年度津市スポーツ少年団剣道交流大会 ・団体の部 松阪剣道連盟 準優勝
- 2025年度 VICTAS 杯三重県中学校卓球選手権大会 ・男子3年生の部 卓球部 優勝
- 松阪地区中学校総合体育大会 ・男子団体 卓球 準優勝
- 松阪地区中学校総合体育大会 ・男子個人 卓球 準優勝
- 松阪地区中学校総合体育大会 ・軟式野球部 優勝
- 三重県中学校卓球大会 ・男子個人 卓球 優秀選手
- 第13回全日本小中学生ダンスコンクール東海大会 ・ダンス 金賞
- 杉原ウィーク 2025・第26回 杉原千畝記念 短歌大会 ・心賞
- ・佳作
- ・激励賞
- 俳人協会 第64回 全国俳句大会 ・ジュニアの部 優秀賞
- ・ジュニアの部 入選
- ・ジュニアの部 佳作
- 三重県俳句協会創立50周年記念児童生徒俳句大会 ・中学の部 三重県俳句協会賞
- ・中学の部 佳作
- 第71回青少年読書感想文三重県コンクール地区審査 ・最優秀賞
- ・優秀賞
- 第36回伊藤園おーいお茶新俳句大賞 ・佳作特別賞
- 第13回松阪市 図書館を使った調べる学習コンクール ・最優秀賞
- ・佳作
- ・努力賞
- ・入選
- ・佳作
- ・剣道 準優勝
- 救急医療を考えるポスターコンクール ・中学生女子の部 剣道 準優勝
- 松阪地区中学校新人体育大会 ・女子個人 準優勝
- 第14回松阪市スポーツ少年団本部長杯少年剣道大会 ・中学生女子の部 剣道 準優勝
- 第71回青少年読書感想文全国コンクール三重県審査 ・優秀賞
- 中学生の税についての作文 ・三重県教育委員会賞
- ・松阪税務署長賞
- ・松阪納税貯蓄組合連合会賞
- 令和7年度全国中学生人権作文コンテスト三重大会地区予選 ・優秀賞
- まつさか景観絵画コンクール ・最優秀賞
- ・優秀賞
- ・特別賞
- ・景観交流会賞
- ・努力賞
- よみうり写真大賞・中高生フォト部門 ・佳作
- 第69回日本学生科学賞 ・入選一等
- 第50回三重県「ご飯・お米とわたし」作文・図画コンクール ・作文部門 内閣総理大臣賞
- ・作文部門 学校賞
- ・作文部門 三重県農業協同組合中央会会長賞
- ・作文部門 三重県米協会会長賞
- ・作文部門 優秀賞
- 三重県剣道体験発表会 ・中学生の部 剣道 優秀賞
- 第45回貴志川剣道優勝大会 ・中学生女子団体の部 剣道 準優勝
- 第3回美し国三重 県連支部選抜中学生 2026代表対抗ソフトテニス大会 ・男子の部 ソフトテニス 優勝
- 第37回三重県合唱アンサンブルコンテスト ・中学校部門 合唱部 金賞 優秀賞
- 第69回全国学芸サイエンスコンクール ・理科自由研究部門 旺文社赤尾好夫記念賞 (入選)
- ・理科自由研究部門 努力賞
- ・写真部門 旺文社赤尾好夫記念賞 (銀賞)
- ・写真部門 旺文社赤尾好夫記念賞 (入選)
- 第15回全国教育美術展 ・特選
- ・入選
- 第46回三重県小中学校書初め展 ・入選
- お菓子のちから 作文コンテスト ・学校賞



Theme

部活動

全ての方へ感謝の気持ちを込めた歌を届けたい

3年B組（松阪市立山室山小学校卒） 中川 日向子さん

私は2024年度に合唱部と出会いました。最初はただ「楽しく歌いたい」という気持ちだけで過ごしていたのですが、時間を過ごしていくごとに合唱がうまくなっていく楽しさや演奏を聴いてもらえる嬉しさが日々芽生えてきました。チームとしても個々の意識の高さ、団結力がどんどんアップしていき、沢山本番に呼んでいただけるようになりました。

そんな中、私たち合唱部は令和8年度第37回三重県合唱アンサンブルコンテストにて金賞、優秀賞を頂きました。この賞は私達にとって嬉しくもあり、より向上心を高めていく出来事だっ

たと思っています。チーム一丸となり取り組めたことは私にとって人生の大きな経験だと感じています。

そして今年度第41回宝塚国際室内合唱コンクールへ出場させて頂けることになりました。このコンクールは海外の合唱団の参加もある大きな大会です。歴史深いこの大会の場に立てることは未だ驚きと戸惑いもありますが、本番では私達の合唱への想い、絆、そして関わっていただいている全ての方への感謝を込めた歌声を届けたいと思います。



Theme

生徒会活動

苦手を克服することにつながる

3年A組（松阪市立徳和小学校卒） 門野 結衣菜さん

初めは中1の生徒会の書記を務めることからでした。この時は生徒会後期だったので、主に地域イベントや校内企画・三重中の円居の参加にとどまりました。円居とは放課後に生徒会が中心となって行われる自主的な活動を指します。ボードゲームなど生徒会メンバーと協力し、参加する方を楽しんでもらうべく企画・運営を行うことは、大きなやりがいがあり、生徒会に参加してよかったと思う理由の1つです。これらの活動に取り組むことは、自分の苦手を克服することにも繋がりました。私は

人前で発表することを不得手としていたのですが、生徒会演説や年末コンサートでの演奏などを先生や生徒会メンバーの力を借りて取り組むうちに、徐々に苦手な自分は影を潜めていきました。おそらく、私一人では参加者を楽しんでもらうことも、自分の苦手意識を克服することもできなかったと思います。私は生徒会での活動を通して、人と協力して物事に取り組むことの大切さを学びました。これらの体験を活かして、今後も委員会活動に取り組んでいきたいと思っています。



Theme

探究活動

自分でやると決めたこと

4年A組（伊勢市立有縄小学校卒） 坂部 凜祐さん

私は中3の時に夏休みの研究課題として「チマタ二類の観察研究～忌避行動と吸血行動の分析、感覚の探究～」に取り組みました。目標は、「日本学生科学賞」コンテストへ応募することでした。

夏休み、研究を継続していく事は困難を極めました。野球部の練習、日々の学習時間の確保、そこに研究です。いずれも自分でやると決めたことですので奮起し、一切妥協を許さず向き合う日々でした。すると、野球部では部創設以来初の快挙である地区優勝が達成できて、研究も次第に軌道に乗り始め、良い流れを自ら鼓舞しながらつくることができました。そして、10月の研究

の完成と提出が完了し、「日本学生科学賞・三重県展」において最優秀賞・知事賞を頂くことができました。その後、書類や面接での二次審査を無事通過し、12月の東京での授賞式では、「入選1等」を受賞することができました。表彰式で初めて受賞を知り、夏からの日々を思い出し、言葉にならない喜びというものを実感しました。

今回の研究では思い通りにいかないことも少なくありませんでした。研究の断念を考えてしまうこともありました。そこを乗り越えた今、困ったときや行き詰ったときこそが最大の成長点だと感じています。また、この学びは今後の自分に大きな福音を与えると思っています。



Theme

外部連携
特別活動

わずか1日の行事で世界は変わった

3年A組（松阪市立第五小学校卒） 石川 航介さん

三重中には「海の学校」という中2生全員が参加する行事があります。この行事では松名瀬海岸の干潟を舞台に専門家の指導のもと、海に実際に入っての学習があります。僕はこの行事に参加する前は海を疎んじていました。でもわずか1日のこの行事において、海洋生物の生態や海の現状を学ぶことで、むしろもっと知りたいと思うようになりました。

そして、後日「アジア海洋教育学会（AMEA）」に行かないかという誘いを頂き、参加することにしました。学会では小学生や様々な国の発表者が集っていて、驚きの連続でした。発表内容は様々で「ムラサキウニの生態」

や「エコツーリズムと経済」など、学校とはまったく異なる世界でした。社会人や大学生が中心の中で、私は恥ずかしながら雰囲気吞まれてしまい、発表は戸惑うばかりとなりましたが、予定通り終えることはできました。ただ、会場に身を置くことで、海洋の知識が深まり、発表の聴講から新たな疑問が生まれたり、新たな専門用語を知ることになったり刺激に満ちた有意義な体験でした。一番嬉しかったことは、みんな研究内容はそれぞれですが、「海洋を守る」という意識が同じところでした。皆さんも臆せず学会に足を運んではいかがでしょうか。



Theme

まつたん

伝統を守り伝えていく大切さと難しさ

3年A組（松阪市立花岡小学校卒） 前田 龍寿さん

皆さんは「まつたん」という三重中の活動をご存じでしょうか。私はこの活動を通じて、地元地域の魅力の発見に取り組んできました。その一環として地域の伝統を広めるイベント「松阪もめん物語」に、中1から2年にわたり参加しました。三重中では毎年、生徒が案内係として運営に関わっていて、私も来場者への案内チラシ配布等を行いました。そこで地域の方々と触れ合う中で、自分の行動が誰かの役に立つ喜びや対話を通じて地域と繋がる楽しさを知ることができました。中2の昨年は活動をさらに1歩進め、数人の友人と一緒に「シールラリー」を企画しま

した。どのように運営すれば、お客様に喜んで頂けるか、どのお店の方にご協力頂くかといった計画から、配布台紙のデザインまで一から考えました。自分たちのアイデアを形にする過程では、意見がまとまらず、苦労したことも多々ありましたが、地域の方々からの心強いアドバイスもあって1つのものを作り上げていく時間はとても刺激的でした。これら2年間の経験から、伝統を守り伝えていく大切さと難しさ、仲間と協力して新しいことに挑戦する素晴らしさを学びました。これから地域の魅力を意識しながら発信していく大切さを学んでいきたいです。



これがポイント！
三重中の
何気ないけど
大切な毎日

三重中での毎日は、
あたりまえのことを
ただただ真剣に過ごす
ことが肝要です。



個別相談・面談



学習習慣の見直しは、言葉のやり取りから。意識を切り替え、行動を変えていく。

ランチタイム

昼休みにほっと一息。午後に備えて英気を養います。ここかしこで話に花が咲きます。



放課後活動



授業後は「部活動」「総合学習活動」「補習講座」「自習」などで個々に課題に取り組みます。明日への1歩はここから。

継続し続ける
ことが大切

三重大学 医学部 医学科 (松阪市立柿野小学校卒業)

橋本 和華さん

大学入試を終えて、4月を迎えましたが、今の心境は？

【小崎】合格をいただいたときはあまり実感がわきませんでした。入学準備をしていく中で徐々に実感がわいてきました。

【橋本】私はまず、ほっとしています。私は共通テストで目標にした点数を取ることができず、落ち込んでいましたが、先生方や友人、家族に支えていただいで合格することができたので、本当に感謝しています。ただ、大学入学はゴールではなくスタートなので、浮かれることなく、これからも目標に向かって進んでいきたいです。

三重中学校への進学を決めた理由は何か？

【小崎】小学生の時に参加した三重中フェスタやオープンスクールが楽しかったです。それが一つのきっかけです。

【橋本】確かに部活動が充実しており、楽しそうだったことです。さらに付け加えると、三重中学校では、高い志を持った同級生たちと学べ、それが自分のモチベーションにも繋がると感じたことです。

2人とも「科学技術部」でしたよね。選んだ理由は？

【橋本】これにもたくさん理由があります。小学校の先輩が所属していたこと、友人もこの部活に入りたいと言っていたこと、三重中フェスタのようなイベントで参加した企画が楽しかったこと、海での調査に興味があったことなどが理由です。

【小崎】小学生の頃の自由研究で貝殻について調べるなど、昔から海や貝に興味がありました。小学生のときに三重中フェ

スタで科学技術部のブースを体験したり、部活動を見学したりして面白そうだなと思ったので入部しました。

この部活動の6年間で得られたことを、シンプルに一言で言うと？

【小崎】「日々継続する力」です。科学技術部が毎月行っている調査は今年で16年目になるのですが、1か月分のデータでは何も見えてこないことも、15年間のデータがあるときと見えてくることもあります。このことから、3日坊主で終わらせてしまうのではなく、継続し続けることが大切であると学びました。

【橋本】一言でどう言おうか考えましたが、得られたことが多すぎて、一言言うのは断念しました。論理的思考力、人に自分の考えを伝える力、忍耐力、スケジュール管理能力、突然のトラブルに対応する力などが身についたと思っています。活動していて、ただ楽しい経験として終わるのではなく、今後の人生において大切なことを学ぶことができました。

三重中学校ではどんな3年間を過ごしましたか？

【橋本】コロナ真最中に中学校生活が始まり、最初は何か物足りないスタートでしたが、勉強をコツコツと続ける傍ら、部活動も楽しんでいました。時には辛いこともありましたが、友人と話したり、支えてもらったりして困難なことは乗り越えられました。

【小崎】コロナ禍での中学生活でしたが、研修旅行やスキー練習会、ジュニアドクター育成塾など、様々なことを経験することができました。

高校生活が始まる中3の3月はどんな気分でしたか？

【橋本】私はA組に所属していて、クラスは高校になっても同じことが確定していたので、高校生に

ゴールではなくスタート

三重大学 医学部 医学科 (松阪市立第二小学校卒業)

小崎 梨子さん

なるという実感はありませんでした。ただ、一緒に時間が長くなってきたこともあり、クラスの一体感が増していくのを実感していました。

【小崎】いよいよ高校生活が始まるワクワクもありつつ、科目が一気に増えて勉強も大変になるのではという不安もありました。

実際に迎えた高校生活はどうでしたか？

【橋本】高校生になったという実感はあまりありませんでしたが、自分の進路について今まで以上に考えるようになり、勉強をするようになりました。また、科学技術部に加え、興味のあった吹奏楽部にも参加するようになりました。一時は訳のわからないくらい忙しかったし、様々な面で困難にぶつかりました。それでも、今考えるとこれらもよい経験で、三重中高でできる最大限の経験を得られたと思っています。

【小崎】コロナ禍が収束し、翠巒祭や体育祭などの学校行事に加えて、部活では学会や表彰式に参加することもできるようになりました。勉強面では予想していたように大変でしたが、友人や先生に分からないところを聞いて解決していきました。

大学志望校はどのように決めましたか？

【橋本】私は、初めは医学科だけを目指していましたが、様々なことを考えると医療の研究が活発な他の学科にも興味があり、3年生の8月くらいまでは三つくらい候補の大学がありましたが、自分の実体験を踏まえ、三重県で医師として働きたいと思い、家族や先生と相談しながら、志望校を決めました。

【小崎】元々小さいころから医師という職業に興味があったので理系を選択しました。オープンホスピタルなどに参加し、地元で貢献したいと思ったので三重大学医学部医学科を志望校と決めました。

かけがえのない経験

大阪大学 外国語学部
スウェーデン語専攻
(伊勢市立小俣小学校卒業)

倉野 由奈さん

私は三重中高で過ごした6年間で生涯忘れることのないであろう経験をたくさんすることができました。

入学したときはコロナ禍で毎日登校できなかつたり、クラスに仲のいい友達もいなかったりで、不安がたくさんありました。しかし、日々の学校生活、学校行事を通してどんどん仲良くなり、今ではクラスみんなが第二の家族と言えるほどかけがえのない存在です。

高3の受験生の期間は今まで生きてきた中でメンタル的にも体力的にも本当に辛い期間でした。しかし、家族のようなクラスメイトと励まし合い、助け合い、支え合うことで、なんとか乗り越えることができました。また、進路で悩んだとき、人間関係で辛かったときにはクラスメイトだけでなく、先生もたくさん話を聞いてくださり、支えていただきました。私は高3の5月末まで陸上部に所属していて、特に高2から高3にかけては勉強と部活動の両立が大変で何度も涙を流すこともありましたが、今となっては三重中高でできた大切な友人たちと6年間を過ごすことができて本当に良かったと思います。三重中高での経験はこれからも忘れることのない大切な思い出です。



倉野さんの思い出スポット「図書室」

●受験シーズンによく利用していたから

仲間とともに
乗り越えた受験

三重大学 医学部 医学科
(多気町立佐奈小学校卒業)

中西 瑠唯さん

三重中高に入学すると、それぞれの目標に向かって努力を重ねている仲間に出会いました。支えあいながら6年間共に過ごし、たくさんの思い出を作ったクラスメイトはまるで家族のような存在でした。お互いのことをよく知っているからこそ、受験期には目指す大学が違って、時に助け合い、時には競い合って高めあうことができました。皆が高いレベルを目指し、クラス替えのないA組でよかったと思います。

また、先生方にもたくさん支えていただきました。特に学年団の先生方には少し早い時期から志望校のレベルに合わせた対策をしていただきました。入試が近づき、精神的に不安定な時も親身に相談に乗り、励まして頂きました。中学生の頃から私たちを見てくださっている先生方の存在はすごく心強かったです。

三重中高で過ごした6年間はあっという間でした。仲間や先生にたくさん支えられ、「受験は団体戦」という言葉の意味を実感するとともに、三重中高に入学できて本当に良かったと思います。



中西さんの思い出スポット「ディスコランテ」

●ダンス部マネージャーとして一番長く過ごした場所であり、たくさんの思い出が詰まった場所だから

精神的な粘り強さを
与えてくれた

京都大学 法学部
(松阪市立山室山小学校卒業)

田中 暖人さん

私の合格の土台は、三重中高での充実した6年間にあります。振り返れば、教室で机に向かった時間と同じくらい、行事や課外活動に心血を注いだ経験が、今の私を形作っています。

高校時代は生徒会長や級長を務め、翠巒祭や体育祭の運営に奔走しました。受験を控えた時期の重責に焦りもありましたが、仲間と助け合い、一つのものを作り上げた経験は、孤独な受験勉強を支える精神的な粘り強さを与えてくれました。

三重中高の魅力の一つ挙げるとすれば、迷いや躓きが生じたとき、熱意溢れる先生方が、個別添削や精神面を100パーセントの力で支えてくださったことです。この母校ならではの温かくも切磋琢磨できる環境があったからこそ、私は最後まで高い志を貫き、志望校合格を勝ち取ることができました。



田中さんの思い出スポット「623教室」

●授業をはじめ自習室でも使った、受験と共に過ごした場所だから

支えられてきた
6年間

京都大学 工学部 建築学科
(松阪市立松尾小学校卒業)

橋井 里さん

私は三重中高の6年間で、沢山の人の支えられてきました。特に受験期には、志望校に関して不安なことが多く、自信を持てずにいましたが、先生方が励ましてくださり、その後押しのおかげで最後まで諦めずに頑張ることができました。もともと私は勉強があまり好きではありませんでした。しかし、先生方が生徒一人一人に真剣に向き合ってください、自分もそれに応えたいと思うようになり、気づけば自然と勉強する習慣が身につきました。本当に感謝しています。また、クラスの仲間は皆とても優しく、放課後に一緒に勉強したり遊んだりしたことや、修学旅行や学園祭といった学校行事はかけがえのない思い出です。三重中に入学していなければ、勉強にあまり力をいれないまま高校生活を終えていたのではないかと思います。三重中高で今の仲間や先生方に出会い、青春を過ごすことが出来たことを、本当に嬉しく思います。



橋井さんの思い出スポット「体育館」

●体育の授業と中学の部活動の思い出がある場所
体育の授業は毎週楽しみでした



小崎さん、橋本さんの思い出スポット「6号館生物室」

●2人が研究に動んだ場所
毎日、ここでデータ解析と議論を交わした

大学合格実績 [過去3年間]

国公立大学						
学校名	R7		R6		R5	
	現	浪	現	浪	現	浪
北海道		2	1			
札幌市立					1	
岩手	1					
東北		1	1		1	
秋田県立			1			
国際教養			1			
茨城			1		1	
群馬			1			
高崎経済	1					
千葉					1	
電気通信	1					
東京			2			
東京都立	1					
東京農工	2					
横浜国立					2	
新潟				1		
富山			1			
富山県立	1					
金沢	1		1		1	
石川県立			1			
福井	1		1			
福井県立			2			
信州			3			
長野大学	1					
静岡	1		3	1		
静岡県立	2				1	
名古屋			5		1	
名古屋市立		1				
名古屋工業	2		2		3	
三重	12	2	9	4	11	1
三重県立看護	1		1		1	
滋賀	2		2			
滋賀県立			2			
京都	3	1				
京都府立医科					1	
大阪	2	1	5	2	1	
大阪教育			2			
大阪公立	2	3	5	1	3	
神戸	1		2			
兵庫県立					1	
奈良教育			1			
奈良女子					1	
公立鳥取環境					2	
鳥取			1		1	
岡山				1	1	
岡山県立					1	
広島			1		2	
尾道市立	1					
周南公立					1	
山口			1		1	
下関市立			1			
徳島	1		2	1	2	
香川			1		1	
高知		1	1			
高知県立	1					
高知工科			2		1	
愛媛県立医療技術			1			
九州			2		1	
長崎県立					1	
大分	1					
大分県立看護科学	1				1	
宮崎					2	
鹿児島			1			
沖縄県立芸術					1	
合 計	43	12	70	11	50	1
	55		81		51	

国公立大学医学部医学科						
学校名	R7		R6		R5	
	現	浪	現	浪	現	浪
名古屋					1	
三重	4		2	2	3	
大分	1					
合 計	5	0	2	2	4	0
	5		4		4	

私立大学						
学校名	R7		R6		R5	
	現	浪	現	浪	現	浪
青山学院			1		5	
慶應義塾	1		2			
芝浦工業	3					
上智	1		1			
中央			5		2	
東海			1		4	
東京薬科			2		1	
東京理科	1	1	3	1	1	
日本	3		2		1	
法政	2		1			
明治	4		4		6	
立教			1		1	
早稲田	3	1	5		1	
愛知	4					
愛知医科			3		3	
愛知学院	1	1				
中京	10		11		11	
名古屋外国語			2			
南山	3		1		4	
藤田医科		1	1		2	
名城	5		5	1	8	
皇學館	13		11		9	
鈴鹿医療科学	13		24	3	17	
四日市看護医療	1		5		6	
京都外国語			5		1	
京都産業	9		7		5	
京都女子	2		2		3	
同志社	12		7		3	
同志社女子	2		2		2	
龍谷	20		31		19	2
立命館	21	1	29	6	9	
関西	5		12	2	2	
近畿	22	1	45		54	
関西学院	10		15	1	7	
その他	43	5	51	2	109	
合 計	171	6	297	16	296	2
	177		313		298	

私立大学医学部医学科						
学校名	R7		R6		R5	
	現	浪	現	浪	現	浪
自治医科			1			
東京慈恵会医科						1
東京医科						1
東海					1	
金沢医科						1
愛知医科			2		1	
藤田医科		1				
合 計	0	1	3	0	2	3
	1		3		5	

大学校						
学校名	R7		R6		R5	
	現	浪	現	浪	現	浪
航空保安大学校			1			
防衛大学校	1					
合 計	1	0	1	0	0	0
	1		1		0	

	R7	R6	R5
卒業者数	90	113	123

年度は、高等学校卒業年度です。

2026年度大学入試 合格実績 — 2025 年度六年制卒業生 90 名十過年度生 — (2026年4月1日 現在)

難関大学合格者数

2026 年度 TOPICS

● 京都大学 4人合格

● 三重大学 医学部医学科 4人合格

● 難関国公立・国公立医学科 16人合格

● 国公立大学 53 人

● 早慶上理 GMARCH 13 人

● 関関同立 48 人

クラス別国公立大学合格実績 現役生

TOP35 20 / 在籍 28 名

STANDARD 24 / 在籍 62 名

京都大・大阪大・神戸大 三重大（医）など（抜粋）

大阪大・京都大・滋賀大 名古屋工業大・三重大など（抜粋）

国公立大学 クラス別 大学合格者状況 [過去4年間]

大学	特別選抜 クラス (TOP35)	選抜 クラス (STANDARD)	学部学科等
東京大学	4	1	文科系Ⅰ類、文科Ⅲ類、理科Ⅰ類、理科Ⅱ類
京都大学	2	2	理、工、法
北海道大学	2	0	工、水産、薬
東北大学	2	0	理、工
名古屋大学	5	1	理、情報、医、教育、工
大阪大学	8	3	理、工、基礎工、薬、外国語、医、人間科
神戸大学	4	1	文、法、海洋政策科
九州大学	3	0	芸術工、農
国公立医学部医学科	12	5	医学科
難関国公立 小計	42	13	
国際教養大学	1	0	国際教養
横浜国立大学	1	2	理工、都市科、経営
金沢大学	3	2	理工、医薬保健学域、文系一括、人間社会
静岡大学	2	3	グローバル共創、教育、情報、工
静岡県立大学	1	3	経営情報、薬、食品栄養科
名古屋工業大学	3	9	工
愛知県立大学	0	2	外国語
岐阜大学	0	2	応用生物科、工
岐阜薬科大学	2	0	薬
三重大学	22	20	医、教育、工、生物資源、人文
三重県立看護大学	0	4	看護
滋賀大学	2	3	教育、経済
滋賀県立大学	3	1	工、環境科
奈良教育大学	1	1	教育
奈良女子大学	1	1	理、工
京都府立医科大学	0	1	医
大阪教育大学	0	2	教育
大阪公立大学	5	9	文、法、工、農
兵庫県立大学	1	1	理、国際商経
広島大学	2	2	教育、文、経済
岡山大学	2	1	工、歯、情報工
その他国公立大学	26	57	
合 計	78	126	

六年制 進路指導部より

『大学入試は3月末まで』

本校の進路指導は中学期の「キャリアプログラム」から始まります。多くの外部連携・講座による様々な体験と学びが生徒の視野を広げていきます。これらを基盤として、生徒は意欲的に自身の未来を想定します。学校の進路指導方針と実践力は難関国公立・国立大学への進学率に現れます。本校では東京大学をはじめとする最高学府への道筋を、教員・生徒・保護者の3者の連携で実現していきます。その指導は「希望の進路へ3月末まで粘る」の一言に尽きます。自分の次のステップへの扉を開ける道程は安易に進むのではなく、最後まで見極める意識と行動が必要です。本校が培った経験と膨大で詳細なデータにより進路部はそのサポートを日々行っています。

3つの条件

第一志望に合格する人に共通していること

- ①教材を大切にしている
- ②授業を大切にしている
- ③毎日家庭学習をしている

施設紹介

松阪久保山丘陵地の広大なキャンパス

様々な活動による
学生生活が個々の
個性を育て、それぞれの
思い出の場所
となります。

知の探究の場。自習スペースも
完備。ここで様々な授業も行わ
れ、意識と知性が磨かれます。



図書館



ディスコランテ

硬式野球部グラウン
ドが一望できるレス
トラン。様々な懇談
会も開催されます。

専門のカウンセラーに
相談ができます。様々
な思いや悩みを受け止
めてくれます。



カウンセリング室



正門

中学
グラウンド

生徒駐輪場



コンビニ



ベルホール

野球グラウンド



通用門

「おはようございます！」が元
気に響く、三重中生の一日の
始まりの場所。校内に一步入
ると今日もたくさんの友人と
の学びがスタートします。



生物室

三重中名物毎週実験の場。み
え環境大賞を受賞する礎と
なった科学学習のベースとな
るところ。様々な体験が待っ
ています。

ここ松阪の
キャンパスでは、
学びを充実させる
魅力的な施設が
整っています。



第2体育館

入学式から始まり、朝礼、様々
な体験授業、日々の放課後の
クラブ活動、そして卒業式。
季節と成長を実感するところ
です。

通学案内



松阪久保山丘陵地にキャンパスがあります。
最寄り駅からはバスもしくは自転車で通学で
きます。教員が通学路の各所にて毎朝登校指導を
行っていますので、適切な時間帯に安全に通学
することができます。詳しくはP18のご案内を
ご確認ください。

三重中に通うには？

三重中学生
に聞いた

電車通学の勉強テクニック

- 1 単語を覚える
英単語・古文単語の単語帳を読んでいます。
- 2 授業の復習
教科書を読んだり、ノートを見返したりなど、
机のいない勉強をしています。
- 3 英語のリスニングの練習
入試を想定し、車内でノイズキャンセリングの
ないイヤホンを使用し、練習しています。

名張駅から
名張小学校出身

私は家へ帰ってから勉強する時間を確保することが
あまりうまくできませんでしたが、その分を
電車の中で教科書や単語帳を使い授業の復習をする
時間に使っています。また、友達と帰る時間や好きな
本を読む時間も電車の中での楽しみです。この電車
通学がとても大切な時間になっていると思います。

近鉄四日市駅
から
中部西小学校出身

はじめは通学時間が長くて大変だと思っ
ていましたが、長い通学時間を勉強時
間にあてるなど上手に活用できるよう
になり、大変だと思わなくなりました。それに毎日のダンス部の活動
も通学のモチベーションとなって今で
は毎日楽しく通学しています。

池の浦駅
から
鳥羽小学校出身

バスとの乗り換えで電車を長い時間待つ
こともありますが、駅や電車の中では漢
字や英語の小テスト対策として自作プリ
ントで復習学習をしています。最初は長
く感じていた通学時間でしたが、その時
間を自分のものにするので、今ではまっ
たく苦にならず、1つの勉強部屋の様
になっています。



近鉄名古屋	名古屋線特急(鳥羽行)	伊勢中川<降車不要>	山田線急行(鳥羽行)
桑名	名古屋線急行(鳥羽行)	伊勢中川<降車不要>	山田線急行(鳥羽行)
近鉄富田	名古屋線特急(鳥羽行)	伊勢中川<降車不要>	山田線急行(鳥羽行)
近鉄四日市	名古屋線急行(鳥羽行)	伊勢中川<降車不要>	山田線急行(鳥羽行)
内部	四日市あすなろ鉄道(あすなろ四日市行)	あすなろ四日市/近鉄四日市	名古屋線急行(鳥羽行)
平田町	鈴鹿線(伊勢若松行)	伊勢若松	名古屋線急行(鳥羽行)
亀山	紀勢線(伊勢市行)	伊勢中川<降車不要>	山田線急行(鳥羽行)
白子	名古屋線急行(鳥羽行)	伊勢中川<降車不要>	山田線急行(鳥羽行)
津	名古屋線急行(鳥羽行)	伊勢中川<降車不要>	山田線急行(鳥羽行)
伊賀神戸	大阪線急行(伊勢中川行)	伊勢中川	山田線急行(鳥羽行)
名張	大阪線急行(伊勢中川行)	伊勢中川	山田線急行(鳥羽行)
伊勢奥津	名松線(家城行)	家城	名松線(松阪行)
伊勢市	山田線(伊勢中川行)	伊勢中川	山田線急行(鳥羽行)
三瀬谷	紀勢線(亀山行)	伊勢中川	山田線急行(鳥羽行)
鳥羽	鳥羽線(伊勢中川行)	宇治山田<降車不要>	山田線(伊勢中川行)

令和8年5月1日現在のものです。詳細等をご確認ください。

R8 在校生 出身個別数	松阪	184	大台	2	四日市	2
	津	49	伊勢	37	菟野	1
	明和	4	鳥羽	3	熊野	1
	多気	6	志摩	1	その他	2
	玉城	1	名張	4	合計	305
	南伊勢	1	伊賀	3		
	大紀	4	鈴鹿	0		

(中学校3学年合算)

JR東海	紀勢線 多気以南 (三瀬谷方面)	9
	紀勢線 松阪以北 (津・亀山方面)	4
	参宮線 (田丸・鳥羽方面)	2
	名松線 (家城・八知方面)	0
近鉄	東松阪以南 (伊勢・鵜方方面)	47
	東松阪以北 (津・名張方面)	72
	東松阪駅を利用している	0
三交バス	三重高校(梅村学園口)下車	83
	篠田山下車	0
自転車	学校まで	136
徒歩	自宅・寮から学校まで	12

【備考】バス利用者は雨天時のみの利用の場合も含む。

 学校法人三重高等学校

三重中学校・高等学校 六年制

〒515-8533 三重県松阪市久保町1232番地 TEL 0598-29-4001 FAX 0598-29-6012

ホームページ <https://www.mie-mie-h.ed.jp/junior/>

※日々の教育活動はホームページでもご覧いただけます。


ホームページは
こちらから

